

考えよう 区市町村における犯罪被害者支援 ～日本中どこでも必要な支援を受けられるように～

開会

13時30分

1 主催者挨拶

2 来賓挨拶 全国被害者支援ネットワーク 理事長 平井 紀夫 様
犯罪被害者団体ネットワーク 代表 前田 敏章 様

3 基調講演 明石市長 泉 房穂 氏

被害者支援は私たちの責務 ～できることから はじめよう～

4 被害者の声 ストーカー傷害事件被害者 松島 ミサ 氏

過去と他人は変えられない。未来と私は変えられる。

…………… 休憩(10分)……………

5 パネルディスカッション

14時40分

コーディネーター 諸澤 英道 (常磐大学大学院教授)

パネリスト 齊藤 静子 氏 多摩市職員 木下 友衣 氏 茅ヶ崎市職員
能登 啓元 氏 明石市職員 松島 ミサ 氏 ストーカー傷害事件被害者
望月 晶子 氏 弁護士

6 総括 ラポーター 河原 理子 氏 (朝日新聞山梨支局長)

閉会

16時30分

主 催 被害者が創る条例研究会

後 援 特定非営利活動法人全国被害者支援ネットワーク
犯罪被害者団体ネットワーク(ハートバンド)

会 場 大田区産業プラザ PiO 3F 特別会議室



登壇者紹介

基調講演

- 泉 房穂氏 明石市長、弁護士、社会福祉士、明石市出身。
2003年～2005年、衆議院議員。犯罪被害者等基本法の制定に携わる。
2011年より、明石市長。
2014年、明石市犯罪被害者等の支援に関する条例を改正施行。

犯罪被害者の声

- 松島ミサ氏 2008年にストーカーによる傷害事件に遭う。
事件後遺症で逆行健忘症の中、刑事裁判を行うが判決で執行猶予が付き、
加害者は未だ車で5分の所に住み続けている。

パネルディスカッション

コーディネーター

- 諸澤 英道 常磐大学大学院 被害者学研究科 教授
全国犯罪被害者の会（あすの会） 顧問

パネリスト

- 斉藤 静子 氏 多摩市 市民生活課 所属
多摩市は、犯罪被害に関する専門相談窓口を2008年に設置し、
専門相談員を置いて支援を行っている。
- 木下 友衣 氏 茅ヶ崎市 市民相談課 所属
茅ヶ崎市は、2009年より犯罪被害者団体と協力して犯罪被害者
からの相談を受けており、本年9月に条例を制定、11月施行予定。
- 能登 啓元 氏 明石市 市民相談室所属 弁護士
明石市は、日常生活支援、経済的支援、二次被害防止など、犯罪
被害者支援について先進的な取組を行っている。
- 松島 ミサ 氏 2008年にストーカーによる傷害事件に遭う。
後遺症で逆行健忘症の中、刑事裁判を行うが判決で執行猶予
が付き、加害者は未だ車で5分の所に住み続けている。
- 望月 晶子 氏 弁護士 特定非営利活動法人レイプクライシスセンター
TSUBOMI 代表理事

総括

- ラポーター 河原理子氏 朝日新聞山梨支局長
「犯罪被害者—いま人権を考える」著者



[本プログラムは2015年度預保納付金支援事業の助成を受け実施しています]